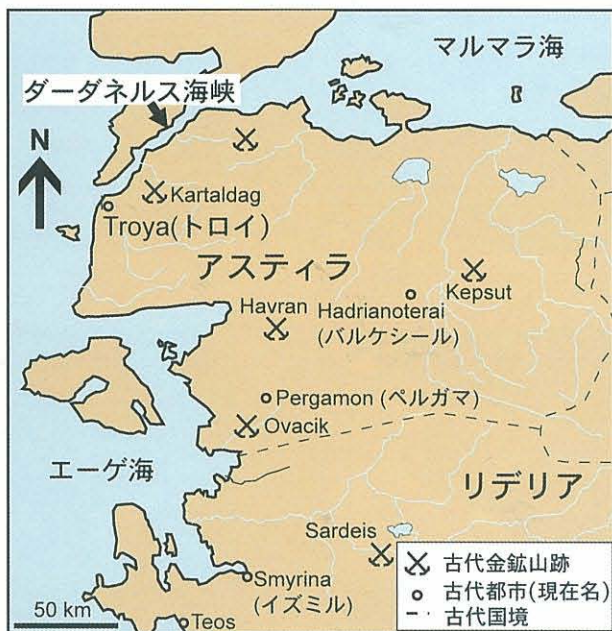


# 金の国アスティラ

< 渡 辺 寧 >



1. トロイ遺跡.

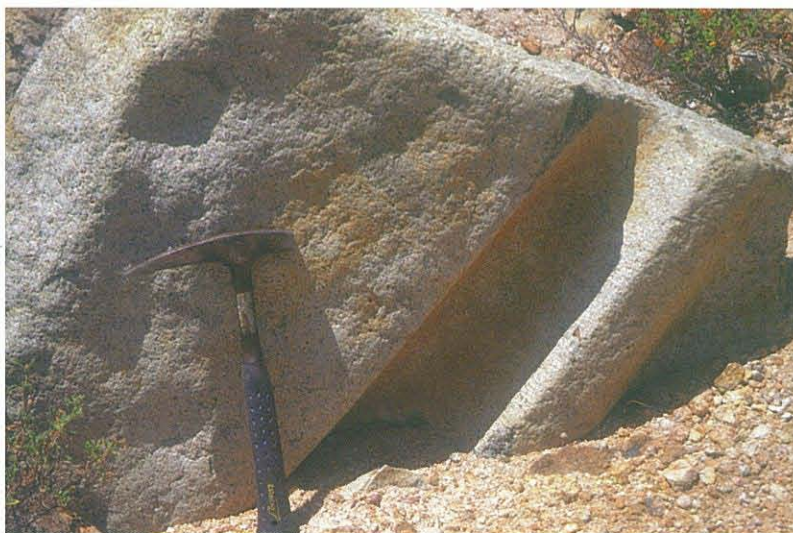


3. 青銅器文明時代の北西アナトリアの国名と金鉱山の分布。トロイ(Toroya)を中心とする地域がアスティラと呼ばれていた。

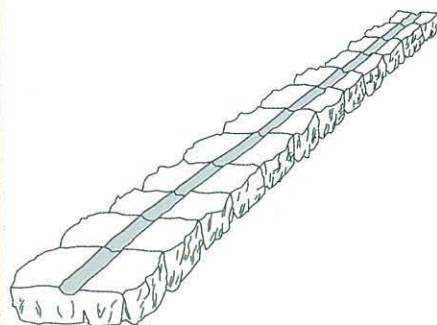
2. トロイ遺跡から発掘された金の頭飾(Yildirim, 2002, Mavi Gezen, 3, 4-10). 全長25cm. 紀元前3000年紀後半.



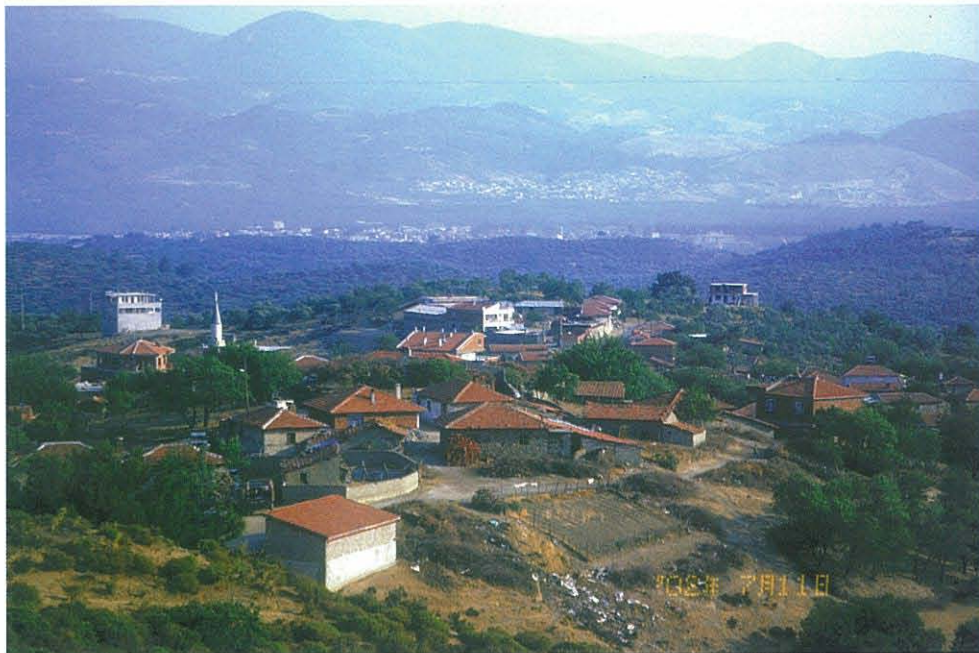
4. Sögüt金鉱床、石灰岩塊中の剪断帯に沿って古代人が金を採掘した跡、トルコ鉱物資源調査開発総局が2002年に試錐を実施しており、古代人を上回る成果を挙げることが出来るかが問われている。



5. Kartaldag鉱床のチャンネル石とその復元図。金の重力選鉱に使われた。



6. アスティラ時代に作られた石水桶、現在でも水場で使用されている。



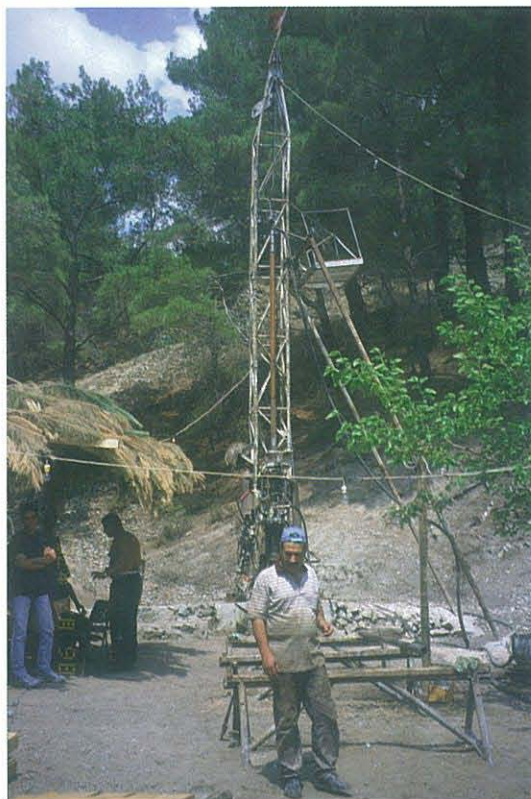
7. Tepeoba村の全景. Tepeobaとは丘の上のゲルハウス(遊牧民の家)という意味である.



8. Tepeoba鉱徴地の角礫岩. 角礫は母岩の砂泥質変成岩, アプライト質花崗岩からなり, 基質は熱水鉱物である黒雲母と電気石からなる. 基質には黄銅鉱, 輝水鉛鉱が鉱染している.



9. Tepeoba鉱徴地の接触変成岩. やや角礫化しており, 孔雀石が鉱染している.



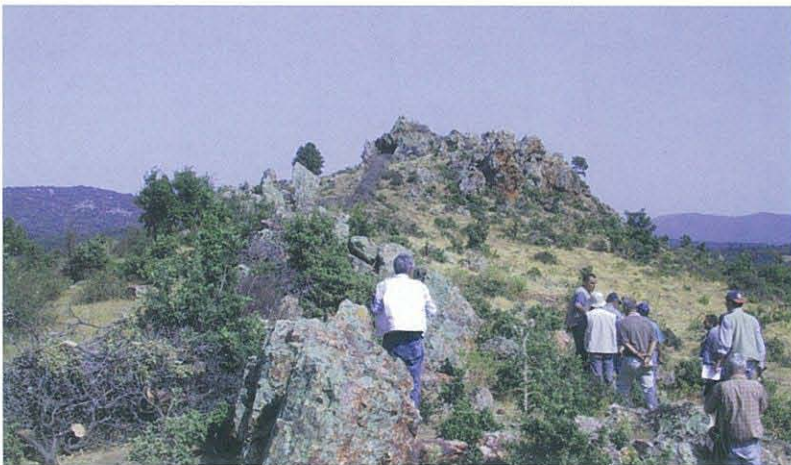
10. Tepeobaでの試錐風景. コアが上がる度に一喜一憂する. 鉱化作用が角礫岩のみでなく下部の花崗岩にも広がっているのが判明した.



11. Kozak地塁(手前)とBiga半島(対岸)との間に広がるEdremit地溝. 中央はエドレミット市街.



12. 流紋岩の単成火山を改変して作られた古代の城砦.



13. Kubaslar 鉱床の熱水角礫岩-カルセドニー質石英脈. 延長1km, 平均脈幅2.5m. 地表部では平均500ppbの金を含む. 部分的に氷長石が縞状に含まれる.



14. Küçükdere 鉱床の含金石英脈. 黒色部はマンガン酸化物を含む方解石.